

第1回目となるシンガポール海外研修を無事に終えることができました。シンガポールでの数日間は、生徒たちの知的好奇心を刺激する時間となりました。テマセック・ジュニア・カレッジの生徒たちとの心温まる交流、先進的な学びを進めているシンガポール国立大学での講義、VIVITA Singaporeでの研修の振り返りを通し、国際的な視野を広げ、自らの可能性と将来について見つめ直す貴重な機会を得ることができました。この研修を単なる経験で終わらせるのではなく、今後の学校生活や将来に活かしていただけることを願っています。

第1回 シンガポール研修 (7/28~8/1)

実施報告

〈事前研修〉

○シンガポールの研修の前に私達は事前研修を行いました。神戸高校のALTのロ・チー・リン先生にシンガポールの文化や食事について教えて頂きました。中でもお土産や食事の話が興味深かったです。このような機会によって、シンガポール研修のイメージがしやすくなりました。(重松)



○事前にテマセックジュニアハイスクールの生徒たちとオンライン上で交流を行いました。一対一で交

流したときに相手の英語がまったく聞き取れないのに自分のカタコト英語はすべて通じるので、とても焦りました。交流を深めたことでペアとの会話がスムーズにできるようになったと思います。インスタを交換したり共通のゲームを見つけたりして、それぞれ仲を深めていました。(大和)

〈1日目〉

○シンガポール研修1日目はとても充実した1日になりました。フライト時間6時間30分を経て、シンガポールのチャンギ空港に到着しました。着いてすぐにチャンギ空港内にある「レイン・ボルテックス」という大きな滝を見学して、その迫力に圧倒されました。世界最大の屋内滝というだけあって、水の流れや光の演出がとても綺麗でした。その後のビュッフェでは、ピリ辛のラクサという麺料理などシンガポールならではの料理を食べることができて、とても美味しかったです。(山下)



○いつも動物園に行くときは昼間だったので、夜の動物園は新鮮でした。また、日中とは異なる夜行性の動物の活発な姿を、柵のない自然に近い環境で間近に体験でき、とても刺激を受けました。初めに、園内を歩いてガラス越しに動物を見ました。次に、私たちは約45分かけて園内を巡るトラムに乗って、窓ガラスのない開放的な空間で夜のジャングルを楽しみました。暗闇の中で突然動物が現れたり、近くを通過したりするため、野生の迫力を感じました。また、巡っている間、音声ガイドがあったため、詳しい説明が聞けて楽しめました。(前田)



〈2日目〉

○私が今回の研修で一番興味をひかれたのは、シンガポール国立大学の工学部でした。建築についての話を現地の教授から英語で聞き取るということも勉強になりましたが、それ以上に講義の内容や教授の人柄にすごくひかれました。講義は大学内を移動しながら行われました。大学内の特徴的な構造は何を意図して設計されたかを熱意をもって語られるのを聞いて、自分の興味の幅も広がり、将来の選択肢が増えた有意義な時間になりました。(若居)



○シンガポール国立博物館ではシンガポールの歴史や文化について、深く学ぶことができました。特に印象に残ったのは日本との戦争に関する展示です。第二次世界大戦中、日本軍がシンガポールを占領した時代の出来事を映像や音、当時の資料などを通して、現地の人々が経験した苦しみや恐怖を感じることができました。また戦後のシンガポールの発展についての展示では多民族国家として互いの文化や宗教を尊重し合いながら国を築いていく姿が印象に残りました。博物館見学を通して平和の大切さを

改めて強く感じ、また歴史を知ることは単に過去を学ぶだけでなく、これからの社会のあり方を考える手がかりにもなると感じました。(河本)



〈3日目〉

○3日目はテマセック・ジュニア・カレッジで現地の学校生活を体験しました。



○歓迎のセレモニー

大きなホールのステージに立って、たくさんの生徒からの注目を浴びたので緊張しました。集会では、他にも、生徒主体での学校のマスコットの誕生日を祝うイベントの告知があったので、愛校心あふれる、良い学校だなと思いました。

○教室の様子

生徒の中に日本の漫画やアニメのステッカーをパソコンに貼っていたりぬいぐるみをペンケースに付けていたりする生徒が多く見られたのでとても驚き、嬉しく思いました。個人的に買った日本のおみやげをバディに渡したところ、とても喜んでくれて嬉しかったです。日本のゲームキャラクターのカードをクラスメイトと楽しげに眺めているバディの姿を見て日本のサブカルチャーって偉大だなと思いました。不安もありましたが、バディが隣に座ってくれるので落ち着いていられました。

○授業

数学ではまだ習っていない難しい範囲だったので苦戦していると、両隣の子が「わかる？」と気にかけてくれたのでやさしいなと思いました。「教えて！」と言うと、頑張ってやさしい英語を使って教えてくれたのが嬉しかったです。ようやく最初の問題を正解したら一緒に喜んでくれました。英語文学では、公民的な要素の多い授業で、シンガポールの国の成り立ちなどを学ぶことができました。授業形式はこの授業が最も日本に近かったと思います。先生が授業の後半に日本に行った話をして下さって嬉しかったです。



○待機時間

授業を受けている生徒を待つために学食の横のカフェでマンゴースムージーを買って教室で待機しました。種類豊富で決めかねている様子を見て、店員の人が特徴やオススメを教えてくれたので嬉しかったです。教室で待機している時、ハッピーターンをシェアしたら、知っていたようでびっくりしました。その後、前の席に先生らしき人が座り、バディと話し始めたので聴いていると、その先生は私にもゆっくり聞き取りやすいように話しかけてくれました。シンガポールに来てどう思ったか、と聞かれたので「愛国心が強く、綺麗で良い国だと思った」と伝えると、「日本も綺麗好きな国ですよ」と言い、日本の良いところを沢山挙げてくれました。バディと先生と三人で話していると、みんな揃ったので、連絡事項伝達がされました。その時、今まで話してくれた先生が、校長先生だったとわかり、とても驚きました。上の立場に立っている人が、好意的に、私のような日本の学生に接してくれたということはとても有難いことだなと思いました。「次は是非、こちら

から日本に伺いたい」と話されていたので、今からとても楽しみです。(山本)

○それぞれのバディの生徒と同じ授業、部活に参加しました。授業はパソコンとルーズリーフなどのメモ用紙だけで行われ、毎時間のように教室のメンバーが大きく変わるところが印象的でした。授業スタイルは先生によって様々で、日本と変わらないところも感じました。午後は部活体験でしたが、僕のバディはその日、活動がなかったので他の部活を見学したり学校前の屋台やコンビニを見て回ったりしました。みんなフレンドリーで楽しく活動できてよかったです。(前田)

○昼食

バディとその友達と一緒に食べました。辛いものが苦手だと伝えたら、できるだけ慣れた味で美味しく食べれそうなメニューを勧めてくれました。食べながら日本について聞かれたので、日本のアニメなどのエンタメから地震の対応などの真面目な話まで沢山のことをお話ししました。とても興味を持って私の拙い英語も辛抱強く聞いてくれました(山本)

○バディとの別れ

学校に戻ってからはついにバディとのお別れの時間でした。2日間しか直接会ってはいないけれど、どのペアもとても仲良くなっていて、たくさん写真をとったりハグをしたりしていました。短い時間だったけど、沢山のことを親切に教えてくれたバディには、感謝しかありません。またいつか会いたいなと強く思いながら電車に乗り込みました。(水垣)



〈4日目〉

○4日目は VIVITA Singapore で午前中講義を受け、午後から自主研修でした。VIVITA Singapore では講義の他、研修の振り返りや将来の夢について話し合いましたナイトサファリや博物館、シンガポール国立大、テマセック訪問など、たくさんの新鮮で貴重な体験をしたのでそれらをみんなで共有、整理できて良かったと思います。レゴブロックで自分の理想の未来を表すという取り組みでは、今までぼんやりとしていた理想像をしっかりと考えることができました英語での講義でしたが、内容をきちんと理解することができたので、研修初日と比べて自分の成長を実感することができました（荒町）



○シンガポールの自由行動では自分たちでどこに行くか、乗り換えをどうするか、ご飯何を食べるかを話し合い予定通りにすべてが進んだ訳ではありませんが、たくさんの場所に行くことができました。ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ、マリーナ・ベイ・サンズ、マーライオン公園、チャイナタウンなどの有名な観光地にも行ったり、たくさんの屋台が並ぶ所でお昼ご飯をたべたり、たまたま見つけたジェラート屋さんでジェラートを食べたりしました。日本とは違うシンガポールの町は全てが新鮮でした。班員のみんなともたくさんコミュニケーションをとりより仲を深めることができました。（伊藤）



〈研修後の感想〉

○このシンガポール研修を通して一番に感じたことは、自分の英語の未熟さです。現地の高校に一日通わせてもらったのですが、海外で聞く英語は聞き取るにはとても速く感じ、辛うじてニュアンスがわかったとしても自分の考えていることが英語で表現できない…自分の英語力の無さを痛感しました。これが英語をもっと頑張ろうというモチベーションになったので、このような機会を用意してくださった先生方や、頼りない僕に気さくに話しかけてくれたシンガポールの学生たちにとっても感謝しています。また、多文化社会であるシンガポールのいろんな人、いろんな文化に触れることができ、とても刺激的な体験となりました。何よりも、自分の英語が通じた時の達成感のようなものは忘れられません。世界の広さを知り、自分を一回り大きくしてくれた最高の研修でした。（山崎）

○私は今回の研修が初海外で不安も多少ありましたが、参加してよかったと思っています！「現地の人と会話できた！」、「自分からバディの生徒に話を振れた！」と自分から行動できたことに成長を感じたり、授業内容や大学の先生の説明が理解できず、自分の英語力の無さを痛感したり…酸いも甘いもあった4日間でしたが、私の人生にとって忘れられない4日間になりました！この研修で得た学びやバディとの縁を大切にしながらこれからの学校生活を送っていきたいと思います！（井村）

